

1. 科目名 (単位数)	国際社会理解研究 I (2 単位)	3. 科目番号	EIII4101
2. 授業担当教員	松浦 康世		
4. 授業形態	講義、議論、発表	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	国際教育コース 4 年次必修科目		
7. 講義概要	本授業では、2 年次に履修した「国際社会理解入門」で紹介された「国境を越えた社会現象」の中で生きる人達の事例を、教育の立場から、教育は誰に対し何を目的に行われるのかをテーマに、理解を深めていきます。グローバル化が進み、社会や人間関係が複雑化する今、「他者を理解する」姿勢はこれまでになく重要となってきました。このように「他者を理解する」立場から、どのような問題が浮上し、どのような解決策があるのかを、読み解く作業を行います。このため、この講義では、国際社会問題についてよりよく理解するため、社会調査法を用いて探求する知識とスキルを身に着けることをも目的としています。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「国境を越えた社会現象」について具体的に例を挙げながら説明ができる。</li> <li>2. 国際社会問題と教育の在り方について、意見を述べるができる。</li> <li>3. 社会調査について簡単に説明ができる。</li> <li>4. 教育の分野で用いられる調査法について慣れ親しむ。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各テーマに関連する研究論文の要約と意見文を書く。(5点×4回)</li> <li>2. 世界の教育問題について具体的なテーマを見つけて研究計画書を書く。(30点)</li> <li>3. 作成した研究計画をクラスで発表する。(30点)</li> </ol>		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> 授業内でプリントを配布する。 <b>【参考書】</b> 授業内で適宜紹介する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 以下の点が達成されたかを基準とし、評価される。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「国境を越えた社会現象」とは何か説明ができるようになったか。</li> <li>2. 国際社会問題と教育の在り方について、意見を述べるができるようになったか。</li> <li>3. 社会調査について簡単に説明ができるようになったか。</li> <li>4. 教育の分野で用いられる調査法について理解が深められたか。</li> </ol> ○評定方法 以下の点を総合して評価する <ol style="list-style-type: none"> <li>1 授業への参加意欲・態度 総合点の 20%</li> <li>2 提出課題 (レポート等) 総合点の 50%</li> <li>3 発表 (口頭発表・期末発表) 総合点の 30%</li> </ol> なお、本学規定により、3/4 以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。		
12. 受講生へのメッセージ	論文検索により必要な情報を入手する方法を学ぶとともに、自らが研究するためのスキルを身に付ける。教育についての身近な問題をグローバルな視点で概観し、課題を見つけてほしい。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (学習の進め方、課題、評価方法)	事前学習	シラバスでコースの概要を理解する。
		事後学習	学習や課題の計画を立てる。
第 2 回	国境を越えた社会現象とは何か	事前学習	グローバル化とは何かを考えておく。
		事後学習	テーマに関して自分の意見をまとめる。
第 3 回	国際社会の諸問題	事前学習	研究論文を検索し、要約する。
		事後学習	テーマに関して自分の意見をまとめる。
第 4 回	世界の教育問題	事前学習	研究論文を検索し、要約する。
		事後学習	テーマに関して自分の意見をまとめる。
第 5 回	地域別の教育事情	事前学習	研究論文を検索し、要約する。
		事後学習	テーマに関して自分の意見をまとめる。
第 6 回	世界の多文化共生と言語政策	事前学習	研究論文を検索し、要約する。
		事後学習	テーマに関して自分の意見をまとめる。
第 7 回	日本の多言語状況と複言語主義	事前学習	研究論文を検索し、要約する。
		事後学習	テーマに関して自分の意見をまとめる。
第 8 回	研究計画書の書き方	事前学習	これまで読んだ論文の書き方を参考にする。
		事後学習	論文で使われている表現を整理しておく。
第 9 回	研究テーマと目的を考える	事前学習	期末発表のための研究テーマを考える。
		事後学習	研究テーマと目的を完成させる。
第 10 回	調査方法の種類	事前学習	論文の研究方法の段落を読んでおく。
		事後学習	自分の研究の方法を考える。
第 11 回	参考文献の書き方	事前学習	論文の参考文献の書き方を見ておく。
		事後学習	引用方法を確認し、参考文献を書く。
第 12 回	発表用資料の種類と作成方法	事前学習	PPT ファイルの作成方法を学んでおく。
		事後学習	PPT ファイルを作成する。
第 13 回	研究計画書と発表用資料の確認	事前学習	研究計画書と PPT ファイルを完成させる。
		事後学習	研究計画書と PPT ファイルを改良する。

第14回	口頭発表、講評	事前学習	PPT ファイルを確認し、発表の練習をする。
		事後学習	クラスから出された意見を整理する。
第15回	復習、アンケート	事前学習	研究計画書を完成させる。
		事後学習	研究計画書を提出する。